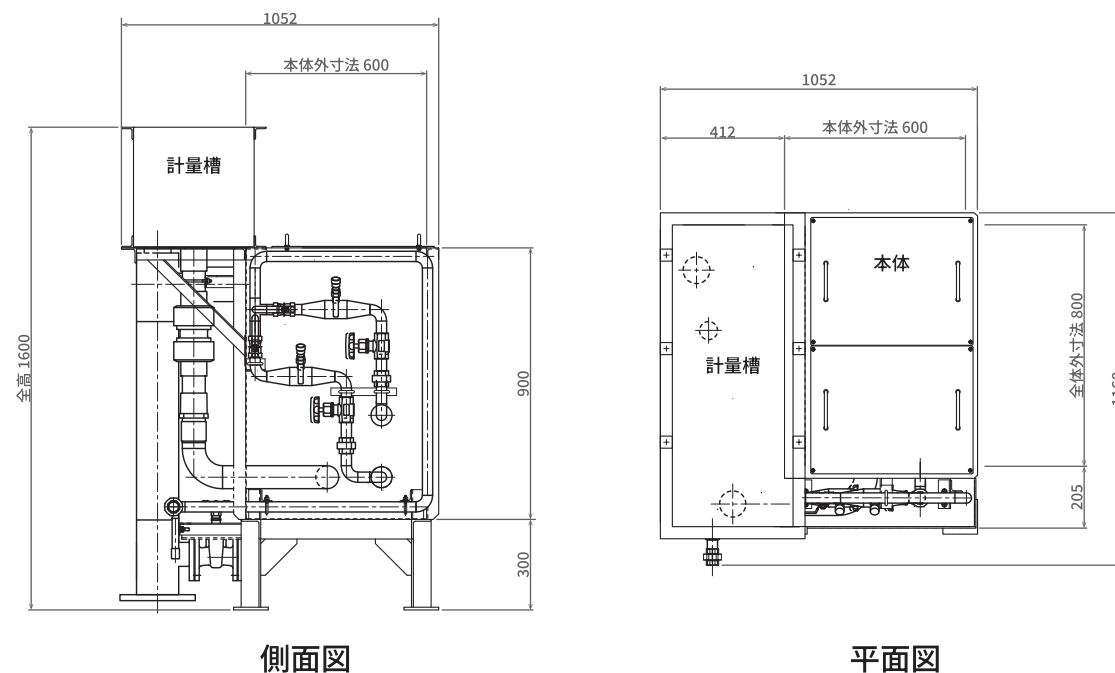


仕様

- 処理水量： 原水流入量 100~500m³/日(原水BOD 濃度3,000mg/ℓ以下の場合)
原水BOD濃度3,000mg/ℓを超える場合は、別途ご相談ください。
- 空気使用量： 300~400ℓ/min
- 材質： 本体 SUS304
- 重量： 空 200kg 運転 700kg

外形図



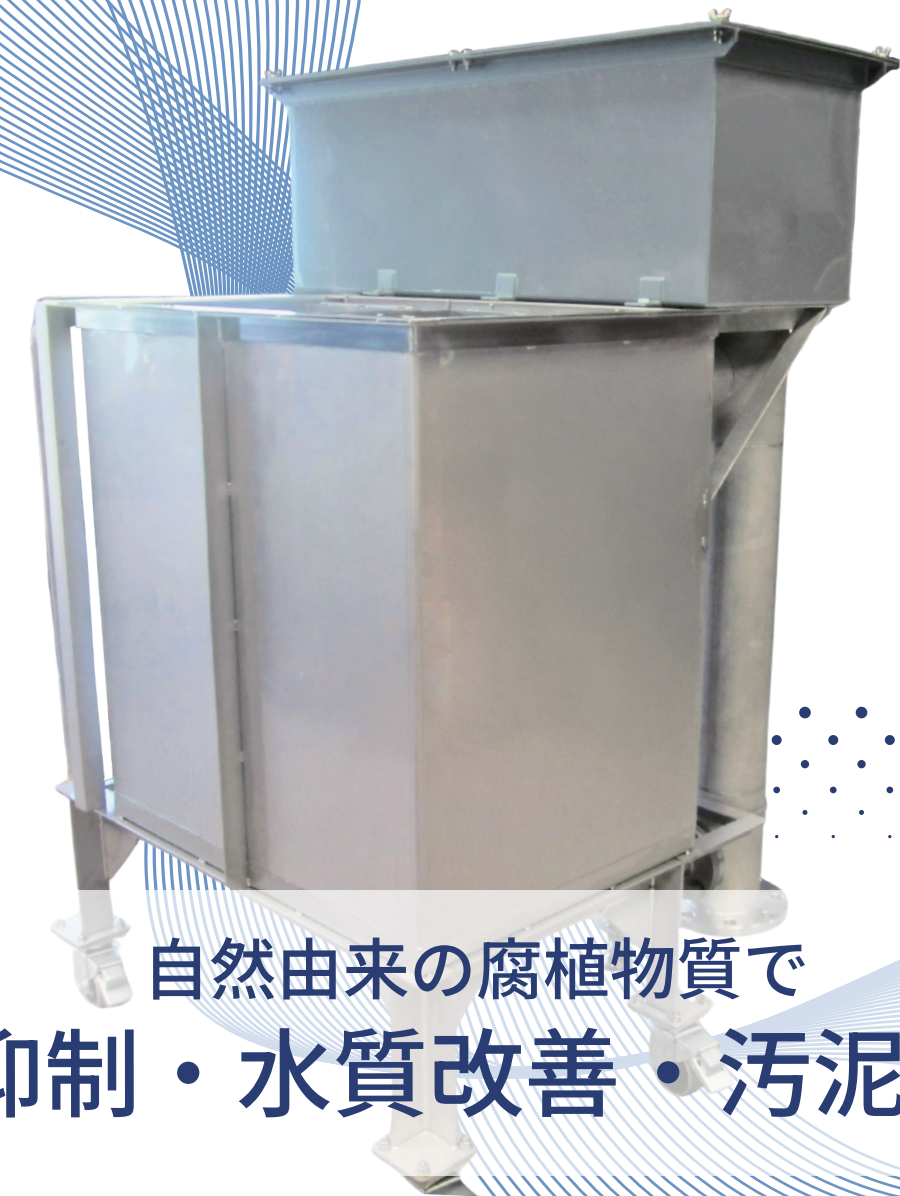
JNCE JNC エンジニアリング株式会社

本社 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2 丁目 3 番 1 号 塚本大千葉ビル 8 階
TEL：043-225-6681 FAX：043-225-7622

九州支店 〒867-0058 熊本県水俣市丸島町 1 丁目 2 番 15 号
TEL：0966-63-5161 FAX：0966-63-4281

<https://jnc-eng.co.jp/>

廃水浄化を イノベーション



自然由来の腐植物質で
臭気抑制・水質改善・汚泥肥料化

JNCE JNC エンジニアリング株式会社

従来の浸漬型の機能をそのままに、更に取り扱いを容易にした外装型リアクターシステムです。

特徴

水質安定(沈降性改善)

悪臭抑制

窒素除去率が高い

肥料化が容易



Point 1 曝気槽などの生物槽上に設置しているため、リアクターに直接充填剤を補充可能

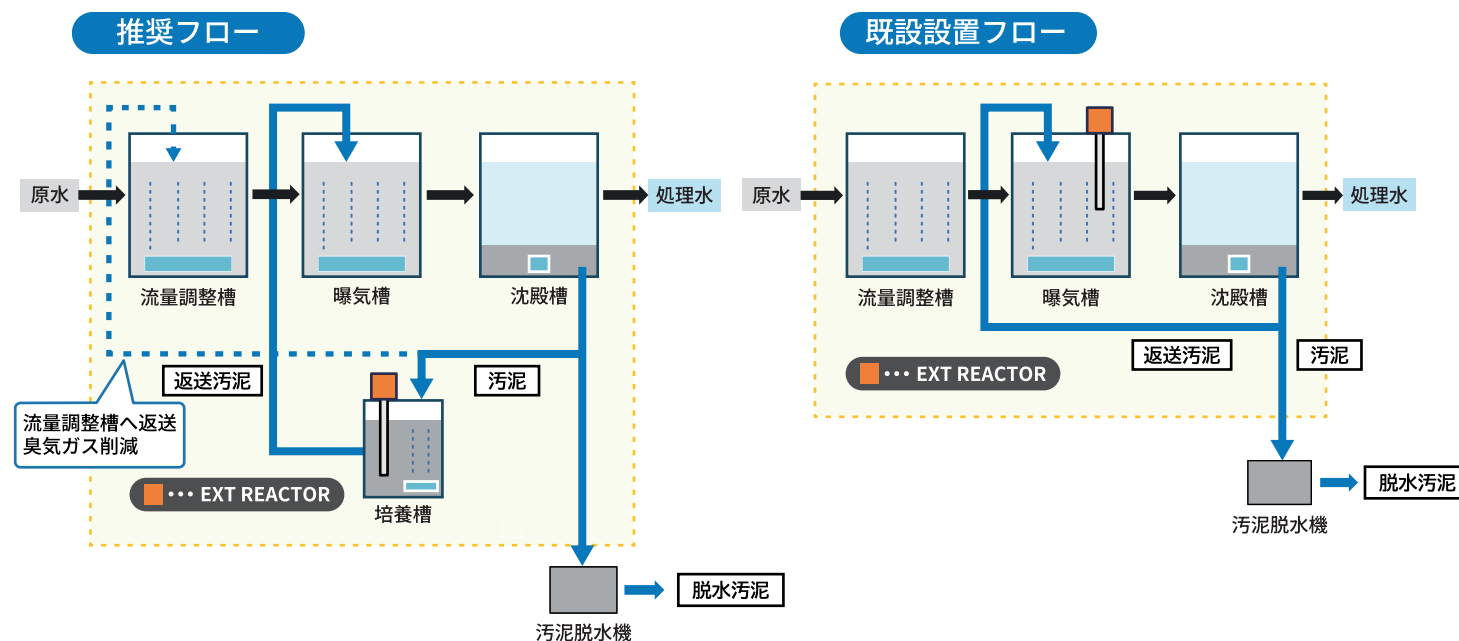
Point 2 リアクターを引き揚げての充填剤交換作業は不要

Point 3 曝気槽などのエアラインからエア（リアクターへの送水用エアリフトポンプ）を一部使用するため、電源が不要

Point 4 原水の負荷変動や、活性汚泥の状況により充填剤（腐植ペレット・軽石）の溶解量を調整することが可能

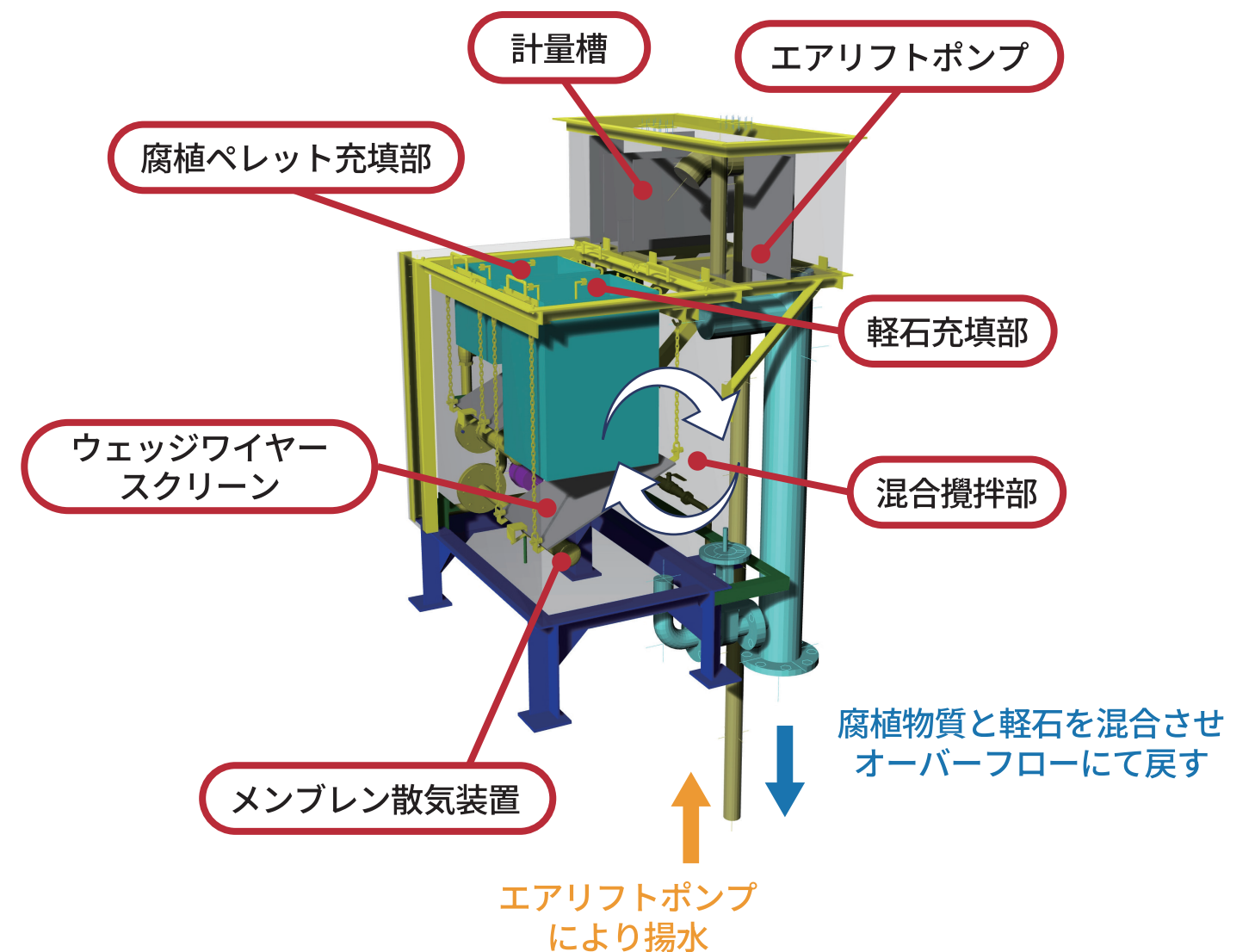
Point 5 排水設備を止めることなく、3日間ほどで設置工事が完了

フロー



名称と仕組み

培養槽もしくは曝気槽より、エアリフトポンプにて揚水し、計量槽にて計量後本体下部より流入します。
本体内部では散気装置により、腐植ペレットと軽石を徐々に溶出させ、活性汚泥中に混合し、その後培養槽もしくは曝気槽へ戻します。



- ✓ 散気装置と充填剤用カゴ間にウェッジワイヤースクリーンを設けることで、カゴの閉塞を防ぐ
- ✓ ウェッジワイヤースクリーンに傾斜を持たせることで、夾雑物などの異物が自動的にエアで除去されるため充填剤の溶解効率を保つことが可能